
世界が滅んだっばいし、暇だからmixiで日記でも書くか。

アキラシンヤ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界が滅んだっばいし、暇だからmixiで日記でも書くか。

【Nコード】

N6177G

【作者名】

アキラシンヤ

【あらすじ】

今朝なぜか世界が滅んだけど、全然なんとも思っていない感じ。

(前書き)

読者様の意見がとても気になるタイプです。

酷評でかまいません。ツマンネの一言で結構です。評価とコメントの方、是非お願いします。

もし、協力していただけるなら、どこがおもしろく、どこがつまらないか、詳しく教えていただけると大変ありがたいです。よろしくお願いします。

暇なのでミクシーの日記を書くことにした。世界が減んだんだから、結構中身のある日記になりそう。即ちこの日記。

朝、目が覚めて、カーテンを開けると世界が減んでいた。

立ち並んでいたはずの社宅は跡形も無く、見渡す限りの土色が地平線まで広がっていた。成る程、地球は確かに丸いようだ。

いい天気だ。3月上旬にしては暖かそう。今日は上着を着なくても大丈夫だろう。

窓を開けてみようかと思ったがやめた。土色が広がっているから、もしかしたら埃っぽい空気かも知れない。あまりいい景色でもないのでカーテンを閉めた。

何が起こったのだろうとテレビを見ようとしたら、リモコンが電池切れだった。電池の予備はないのであきらめた。

外に出る気にはなれない。今日はスタジオで練習だから、もうすぐ藤原が迎えに来てくれる筈だ。

いつか滅ぶと思っていたが、意外と早かった。原因はわからないが、少なくとも俺のせいではないのでどうでもいい。

そうだ、歌を作ろう。世界が減んだからいい曲が出来そう。

と、思ったらギターを藤原に預けっぱなしだった。仕方ないので詩だけでも書いてみよう。

ある朝 目が覚めると 世界が終わっていた

意外と無感動 何とも思わないな

タバコが残っててよかった

そういえば友人達は無事だろうか

あ。そう言えば友人達は無事だろうか。今まで気にもしなかった。

電話を、あ、充電切れてたんだった。あきらめよう。無事じゃなかったら嫌だしな。

これからどうしようか。何も思いつかない。そつだ。

これを見てるみなさん。俺はこれからどうしたらいい？コメント欄にアドバイスをもらえるところうれしいです。

あ、みんな滅んでしまったかも知れないのか。

ま、滅んでなかったらお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6177g/>

世界が滅んだっばいし、暇だからmixiで日記でも書くか。

2011年1月4日04時32分発行